

# クイズに挑戦!

みんなで「小城市の将来像」を描くには、いろいろな情報を共有しなければなりません。難問ばかりのクイズに挑戦! あなたはわかりますか?



Q1 小城市の核家族は何世帯でしょう?

Q2 小城市の市道の総延長は何キロメートルでしょう?

Q3 佐賀県は1世帯あたりの自家用車所有数で全国第何位でしょう?

Q4 小城市に1年間で訪れる観光客数は何人でしょう?

Q5 小城市内の保育所に入所している児童数は何人でしょう?



そもそも「核家族」とは... 何やらね?



みんなで情報を出し合い、回答を考えました

## 各班の回答

	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	
Q1	8,000	6,500	6,000	5,000	6,000	4,500	6,000	11,500	(世帯)
Q2	800	3,000	800	500	75	350	2,000	160	(km)
Q3	8	7	8	3	5	4	5	4	(位)
Q4	80	30	70	50	670	100	10	100	(千人)
Q5	700	800	500	950	700	1,200	1,100	450	(人)

A1 8,757世帯

「核家族」とは、一組の夫婦とその未婚の子どもからなる家族のこと。H25.10.1現在の人口は、46,104人で、世帯数は15,473世帯です。

A2 350.1km

市道の歩道設置延長は、24.8km。舗装率は、99.1%です。

A3 第10位

1世帯あたりの所有台数は、1.9台です。西日本では第1位です。

A4 475千人

観光客数は、佐賀県内20市町中第12位です。第1位の唐津市は、722万人です。

A5 892人

市内には、公立認可保育所が4、民間の保育所が6、あわせて10保育所。定員は1,000人。待機児童はいません。



市民アンケート結果の報告、みんなで情報を共有します



視線の先は「小城市の未来」



毎回、ドキドキのグループ分け

# 小城市 まちづくり 市民会議 ニュース No.2

発行日：平成26年10月20日  
発行者：まちづくり市民会議事務局

## 第2回

## 市民会議を開催しました。

第2次小城市総合計画策定のため、小城市の将来都市像を考える「まちづくり市民会議」の第2回目を10月15日(水)に開催しました。参加者は、市民と職員合わせて、43名でした。

1回目は、何をしたらだろうと若干戸惑いも見られましたが、2回目はワークショップ方式にも慣れ、談笑しながら積極的な意見交換が行われました。

まず、『市民会議ニュース』を使って前回の振り返りをして、その後グループ分けをしました。今回のグループ分けのテーマは「運動会」でした。それぞれ運動会の思い出を楽しそうに語られていました。

次に小城市に関するクイズに挑戦しました。アンケート結果の報告もあり、いろいろな情報を共有できたのではないのでしょうか。

続いて、10項目について小城市の評価をしてもらいました。なぜそう思うのかを班で話し合いながら、班でまとめる作業をし、最後に「 が するまち」という現時点での将来像イメージを考えてもらいました。

小城市の「良い点」・「問題点」が洗い出され、今後の目指すべき方向が明らかになっていきます。

## 第2回 プログラム

- 1 開会・あいさつ
- 2 前回の振り返り
- 3 班分け・参加者紹介
- 4 クイズ
- 5 レーダーチャート
- 6 閉会

# 小城市の「つうしんぼ」

- レーダーチャート -

10項目について、個人で評価をし、その後各班で自分が何でそう思うのかなど意見を交わし、班として評価（点数つけ）をしてもらいました。そのとき出された意見は下表のとおりです。（「良い点」は青、「問題点」は赤になっています。）最後に「 が するまち」、「 を するまち」という現時点での将来像イメージを考えてもらいました。

1班



2班



3班



4班



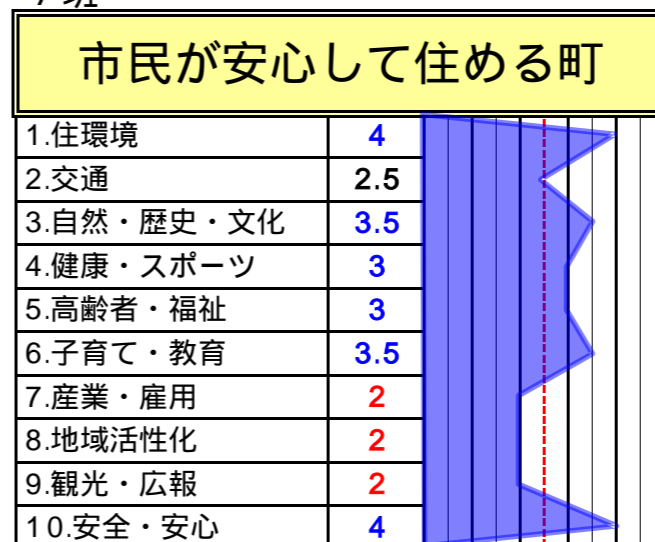
5班



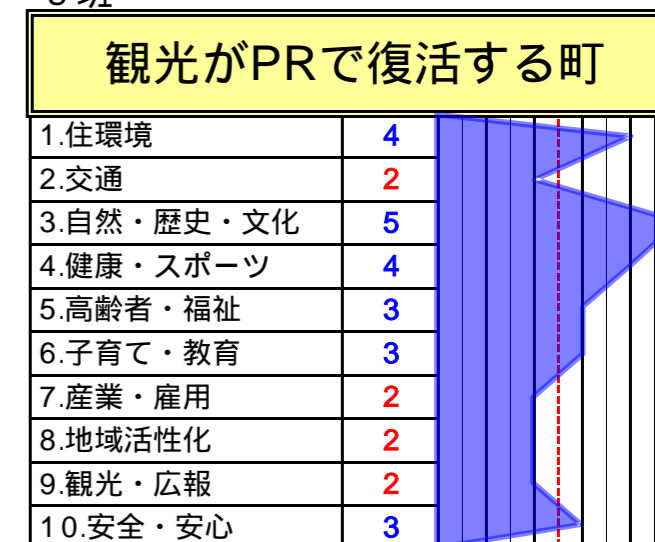
6班



7班



8班



良い点

問題点

1 住環境	2 交通	3 自然・歴史・文化	4 健康・スポーツ	5 高齢者・福祉
・住みやすい	・アクセスがよい	・自然豊か（多い）	・施設充実（アイル・ゆめりあ）	・高齢者に優しい
・まわりに自然がある	・市外へ行くには便利	・山から海まで	・健診が多い	・4町とも福祉センターがある
・店が多い（コンビニ・スーパー）	・巡回バスがある	・歴史のあるところが多い	・医療施設が多い	・財政面では優遇されている
・地価が安定	・道路網はよい	・自然は多いが、活かされてない	・少年スポーツが盛ん	・介護施設、サービスは充実している
・ワラ焼き（けむり）	・公共交通の本数が少ない	・山、林が荒れている	・スポーツ施設が充実していない	・障がい者施設が少ない
・蚊が多い	・街灯が少ない	・アピール不足（PR不足）	・指導者の確保が難しい	・色々やっているがPR不足
・虫が多い	・縦断道路がない	・伝統を継承できる人が少ない	・夜ウォーキングが安全にできない	・一人暮らしへのサポートが足りない
・娯楽施設が多い	・車のない人たちは不便		・無料で使える施設が少ない	・特色がない
6 子育て・教育	7 産業・雇用	8 地域活性化	9 観光・広報	10 安全・安心
・ICT教育が進んでいる	・様々な産業がある（農・漁・商）	・ボランティアをやりたい人はいる	・広報が頑張っている	・治安はよい
・待機児童が少ない	・一次産業は充実	・スマートICに期待	・小城公園の桜が有名	・排水機場が多い
・放課後児童クラブがある	・土木業者が多い	・地域行事には人がよく集まる	・文化コミュニティ活動が盛ん	・青パトで巡回している
・児童センターが整備されている	・長く続いている会社多い	・4町で運動会が続いている	・I♥OGI等ががんばっている	・消防団に若い人が増えた
・通学路に歩道がない	・市外へ通勤する人が多い	・イベントがバラバラ	・宿泊施設がない	・街灯（外灯）が少ない
・小児科、夜間救急医療が少ない	・企業が少ない（雇用がない）	・商店街が死んでいる	・観光資源はあるが、PRが足りない	・歩道が少ない
・子どもの遊ぶ場所が少ない	・企業誘致ができていない	・4町の一体感がない	・年間通して集客できる場所が少ない	・水害の危険性がある
・子育てしたくなる理由がない	・遊技場以外を充実させる	・話題性がない	・羊羹しかない	・危険だと思える種類が変わってきた